

附属学校園のメリットを生かした「ウェルビーイング」な幼稚園を目ざして

先日、附属幼稚園のホールで「4・5月のお誕生会」を行いました。その際、子どもたちに「なぜ、お誕生会をするのでしょうか?」と問いました。そして、園長として子どもたちに次のように答えました。

「お誕生会は、その日に生まれてきた人だけでなく、家族やみんなで幸せを確かめる日です。今日は、お誕生会でお祝いしてくれるお友達に『ありがとう』や、お誕生日のお友達に『おめでとう』と言ったりして、みんなで大切なお友達と一緒に附属幼稚園に入れてよかったな、幸せだと思える一日にしていきたいと思います。」

自分だけでなく、みんなで幸せを感じる。そして、幸せの気持ちを持って園生活を過ごすことが「お誕生会」の目的です。

このことを整理すると、「**自分だけが幸せでなく、周りのみんなも幸せであり、かつその状態がよい形で持続すること**」とも言えます。

これが、まさに「ウェルビーイング」の考え方です。そして、「4・5月のお誕生会」だけでなく、日々の教育活動の中に「ウェルビーイング」の姿が随所に見られる、そんな幼稚園を目ざします。

そのために、「附属学校園のメリット」を生かして教育活動にあたっていきます。

(1) 大学、附属学校園と連携した教育活動の推進

- ① 大学とともに、教育・保育に関する研究を行い、それらを基にした先導的な教育活動を目指します。しかし、研究のための教育・保育ではなく、「全ては子どもたちのため」という意識を絶えずもち取り組んでいきます。
- ② 同じ敷地内に附属小学校・附属中学校があることから、いつでも気軽に連携できる環境を活かし、小学生や中学生と教育活動を共にすることで、子どもたちの「夢や希望」をさらに高めるよう取り組んでいきます。

(2) 家庭・地域のニーズに即した教育活動の推進

近年の少子化、共働きの増加など子どもたちを取り巻く環境の変化を踏まえ、昨年度後半から、「預かり保育」を試行的に行っています。今年度は次年度からの本格実施を見据え、取組みの強化を図り、子どもたちの健やかな成長に資するよう取り組んでいきます。

(3) 教員養成、及び現職教員の研究の機会の提供

- ① 弘前大学教育学部の学生だけでなく、他大学の学生も含めた学生の教育実習の場として、「夢・希望・志」をもって教職を目指す学生の育成に努めます。
- ② 国立大学法人の附属幼稚園として、現職教員の研修の機会を提供し、教員一人ひとりの資質・能力の向上に努めます。

「全ては子どもたちのために」を肝に銘じ、家庭・地域、及び大学関係者と連携を強化し、「ウェルビーイング」な幼稚園を目ざしていきます。